

練習課題

課題：Hello

☞ 次のようなプログラムを作ってください。

以下の20文字を打鍵してエンター・キーを押下すると.....。（ここで、`go-practice` の部分は、適宜、あなたのプログラム・ファイル名に置き換えてください。以降同じ）

```
go-practice -p hello
```

☞ 2行目に、以下の5文字が出てください。

```
world
```

☞ 以降、以上の手続きを、以下のように表記することにします。

```
go-practice -p hello
## ## 応答
## world
```

課題：Interpreter

☞ 次のようなプログラムを作ってください。

以下の11文字を打鍵してエンター・キーを押下すると.....。（ここで、`go-practice` の部分は、適宜、あなたのプログラム・ファイル名に置き換えてください。以降同じ）

```
go-practice
```

☞ 2行目に、以下の4文字が出てください。（4文字目は半角空白です）

```
>>>
```

3行目に、以下の5文字を打鍵してエンター・キーを押下すると.....。

```
hello
```

⌚ 4行目に、以下の5文字が出てください。

```
world
```

⌚ 以降、以上の手続きを、以下のように表記することにします。

```
>>> hello
## ## 応答
## world
```

課題： Quit

さきほどの課題 [Interpret] の続きです。

以下のように、応答が返ってきたら、また入力に戻るようにしてください。

```
go-practice
>>> hello
world
>>> hello
world
>>> hello
world
```

⌚ 繰り返しから抜けたいときは、[Ctrl] + [C] キーでプログラムを強制終了できるでしょう。

次に、**quit** と入力したら、繰り返しから抜けるようにしてください。

```
go-practice
>>> hello
world
>>> quit
```

課題： Engine Options

次のようなプログラムを作ってください：

⌚ 以下のようにコマンドラインを入力すると：

```
go-practice
```

⌚ 以下のように応答され：

```
>>>
```

⇒ 以下のように打鍵：

```
>>> setoption -n name -v banana
```

⇒ 以下のように応答され：

```
banana>
```

⇒ 以下のように打鍵：

```
banana> getoption -n name
```

⇒ 以下のように応答：

```
banana  
banana>
```

⇒ 以下のように打鍵：

```
banana> quit
```

課題： Echo Proxy

次のようなプログラムを作ってください：

⇒ 以下のようにコマンドラインを入力すると：

```
go-practice
```

このコマンドの実体は例えば  Z:/muzudho-github.com/muzudho/go-practice/go-practice.exe といった実行ファイルだとします。

⇒ 以下のように応答され：

```
>>>
```

⌚ 以下のように打鍵 :

```
>>> echo-proxy -f Z:/muzudho-github.com/muzudho/go-practice/go-practice.exe
```

つまり、実行ファイル自身へのファイルパスを `-f` 引数に渡しています。

⌚ 以下のように応答され :

```
>>>
```

⌚ 以下のように打鍵 :

```
>>> hello
```

⌚ 以下のように応答され :

```
world
```

```
>>>
```

⌚ 以下のように打鍵 :

```
>>> quit
```

⌚ 以下のように応答され :

```
>>>
```

⌚ 以下のように再び打鍵 :

```
>>> quit
```